



同居猫の名前 猫はわかっている

猫は同じ家で同居している猫の名前を認識している——。そんな研究成果を京都大などのチームが発表した。同居猫の名前を聞くと、その顔を思い浮かべていると考えられるという。論文が科学誌に掲載された。

人間の乳幼児や猫などの動物は予想外のことが起きておどろくと、その現象に興味を持つため見る時間が長くなるという性質を持っている。チームはこの性質を利用して、家庭や猫カフェで他の猫と同居している48匹が、同居猫の名前を区別しているかを調べた。

実験では、同居猫の名前をスピーカーで流した後、モニターにこの同居猫の写真を表示した場合

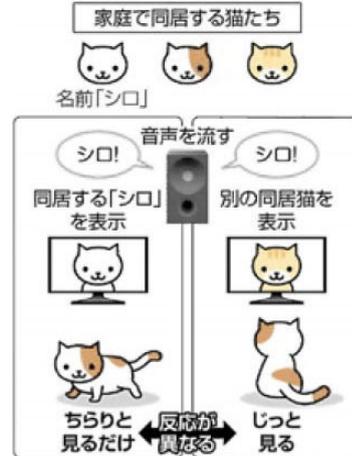
と、別の同居猫を表示した場合との反応の違いを比べた。

その結果、家庭の猫では、別の同居猫を表示した時の方が写真を見つめる時間が長くなった。猫カフェの猫では、いずれの写真でも同じような反応だった。

また、家庭の猫で同居する人の名前と顔写真を用いて同じ実験をしたところ、同居期間が長いほど「猫が人間の名前を記憶している」と考えられる結果になった。

チームの研究者は「猫は人間の話には無関心のように見えるが、実は注意深く聞いていた。ここまで他の個体の名前をはっきり認識しているとは思っていなかったのでおどろいた」と話している。

猫が同居猫の名前を認識しているか確かめる実験のイメージ



千葉大の牛谷智一准教授の話「『仲間の名前を認識しているかもしれない』と想像している猫の飼い主はいるだろうが、科学的に実証したことに価値がある」

1 記事によると、人間の乳幼児や猫などの動物はどのようなときに、「見つめる時間が長くなる」性質がありますか。後ろに「～とき」が続くように、記事中の言葉を使って、15字以内で書きましょう。

予想外のことが起きておどろいたとき

2 この実験から分かったこととして、正しいものを全て選びましょう。

- ① シロは、同居猫に名前や顔をきちんと覚えてもらえていないこと。
- ② 猫カフェの猫は、仲間が多すぎるために全員の名前が覚えられないこと。
- ③ 猫は、人や猫の名前をそれぞれ区別して認識していると思われること。
- ④ 猫は、自分の好きな猫や人のことを、長いこと見つめるということ。
- ⑤ 猫カフェの猫の方が、家庭の猫と比べて頭が良くないということ。
- ⑥ 猫は、自分の周りの「呼び名」を注意深く聞いているということ。

記事に「予想外のことが起きておどろく」とあります。この部分を「～とき」に続くように、うまく変えられましたか。

③ ⑥

実験で明らかになったのは、「家庭の猫は、人間の話聞いて、人間や猫の名前を認識していること」です。②と⑤に書いてあるような「猫カフェの猫がなぜ名前を認識できないか」については記事ではふれられていません。

Aは、ハナがじっと見つめたことから、お母さん以外の名前がスピーカーから流れたと想像できます。Bのトラは猫カフェの猫なので、どのように見たのかは、判断できません。

3 記事を踏まえると、右のA、Bのケースについて空欄①、②には、次のア～オのどの言葉を入れるのが適当ですか。選びましょう。

- ア：「お父さん！」
- イ：「お母さん！」
- ウ：記事からはわからない
- エ：ちらりと見るだけ
- オ：じっと見つめる

同居するお母さんを表示 (① ア) 音声を流す

家庭の猫 ハナ →結果：じっと見つめる

クロを表示 「シロ!!」 音声を流す

猫カフェの猫 トラ →結果：(② ウ)



読んでみよう！

◆ミー太郎のおすすめ記事

疑似トーク

技術、サービス続々

「何してるの？」

電機メーカーのNECが2021年から手がける無料通信アプリ「LINE(ライン)」向けサービス「W

aneco talk(ワネコトーク)」は、AI

(人工知能)技術を使い、まるで愛犬や愛猫とメッセージを交わしているかのような体験ができる。



飼い主がスマートフォンで「何してるの?」とメッセージを送れば、「のんびりしてるよ」「起きた〜」といった返事が届く。首輪に付けたセンサーでペットの動きをデータ化し、それをAIが分析する。データを動物病院が診察に役立てることもできる。

自宅マンションで愛犬にこのサービスを使っているという横浜市在住の40歳代の会社員女性は「外出中も行動パターンが分かって安心。いつもと違う状態を感じたら、病院に連れて行く判断材料にもなる」と話す。



(2022年5月24日 読売新聞夕刊より)

動物が「何を考えているのかな」と気になったことは、ありますか。

いつか、会話ができるようになるかもしれませんね。